令和５年度 あだちっ子歯科健診※実施結果報告書

あだちっ子歯科健診は、全ての年少児（４歳）～年長児（６歳）を対象に、「統一基準」「丁寧な受診勧奨」「結果の集計･分析･フィードバック」をセットに実施している。※　概要はP12へ

令和５年度の実施結果について、以下のとおり報告する。

令和５年度 あだちっ子歯科健診実施結果報告書・目次

1　令和５年度施設参加率と受診率　Ｐ１

2　令和５年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】　Ｐ２

（１）乳歯にむし歯がある子どもの割合は、前年度より減少

（２）未処置のむし歯がある子どもの割合は、年中児・年長児で微増

（３）施設種別 未処置のむし歯がある子どもの割合（R2～R4 年度比較）

（４）教育・保育施設におけるむし歯り患率の比較（年少児・年中児・年長児）

3　令和６年度の主な取組　Ｐ６

4　糖尿病対策アクションプラン－歯科口腔保健対策編－【中間見直しによる改定版】進捗状況　Ｐ６

5　資料編　Ｐ８

1　令和５年度施設参加率と受診率

（１）教育・保育施設の参加率は、７年連続１００％（図１）

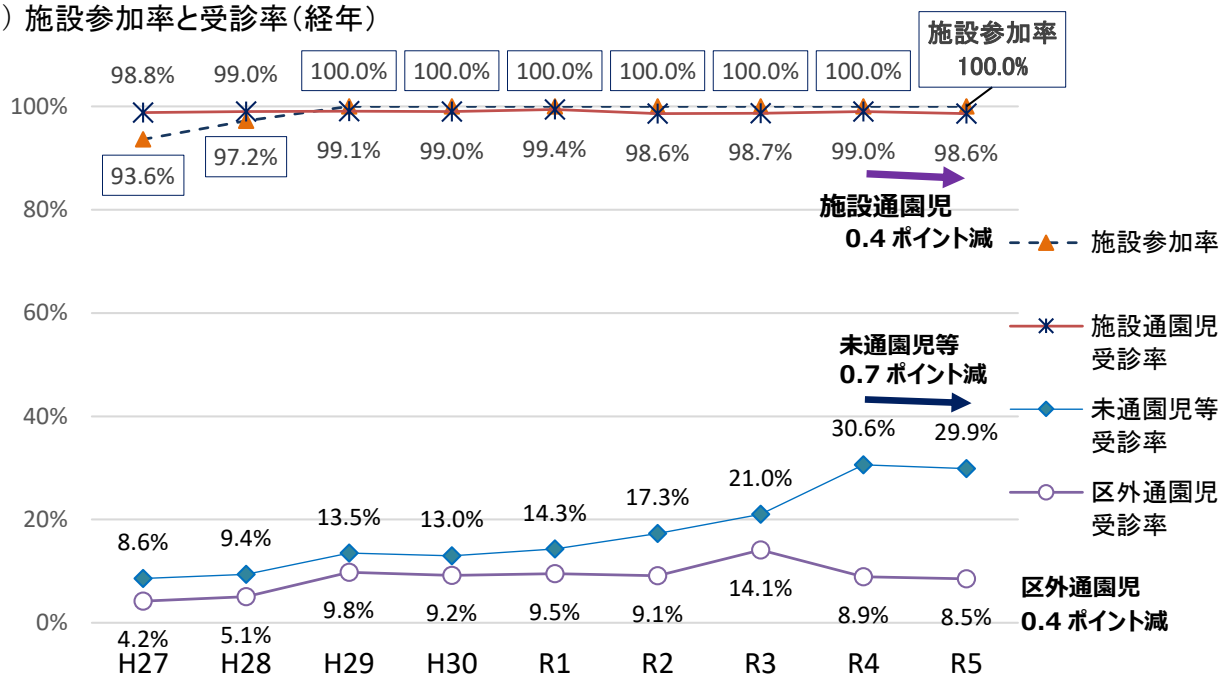
全２１６施設（前年度－３施設）で実施し、１３，８０９名が受診した。

（２）歯科健診受診率は、施設通園児、未通園児等ともに減少した（図１）

施設通園児の受診率は９８．６％（前年度０．４ポイント減）であった。

家庭保育又は認可外保育施設（認証保育所を除く）、企業主導型保育施設、児童発達支援センター等や区外の教育・保育施設に通っている子ども（以下、「未通園児等」という。）のうち、区外通園児を除く受診率は、４か所の認可外保育施設に歯科医師が赴いて歯科健診を実施したが、前年度より０．７ポイント減少し、２９．９％であった。

（図１）施設参加率と受診率（経年）

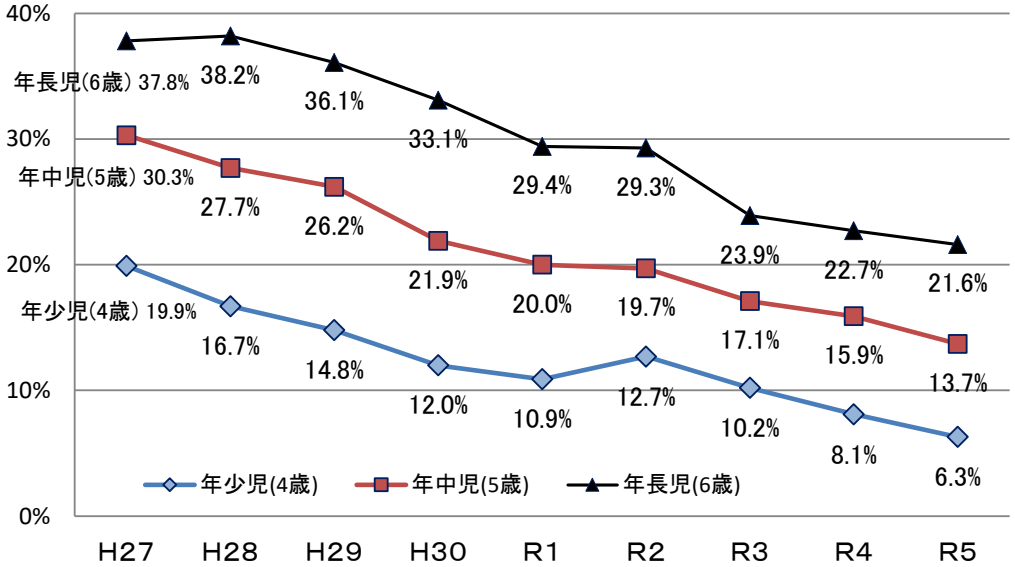


2　令和５年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】

（１）乳歯にむし歯がある子どもの割合は、前年度より減少

事業開始当初(Ｈ２７年度)からみると、年長児(６歳)は１６．２ポイント、年中児(５歳)は１６．６ポイント、年少児(４歳)は１３．６ポイントと大きく減少している。

（図２）　乳歯にむし歯がある子どもの割合（むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む）

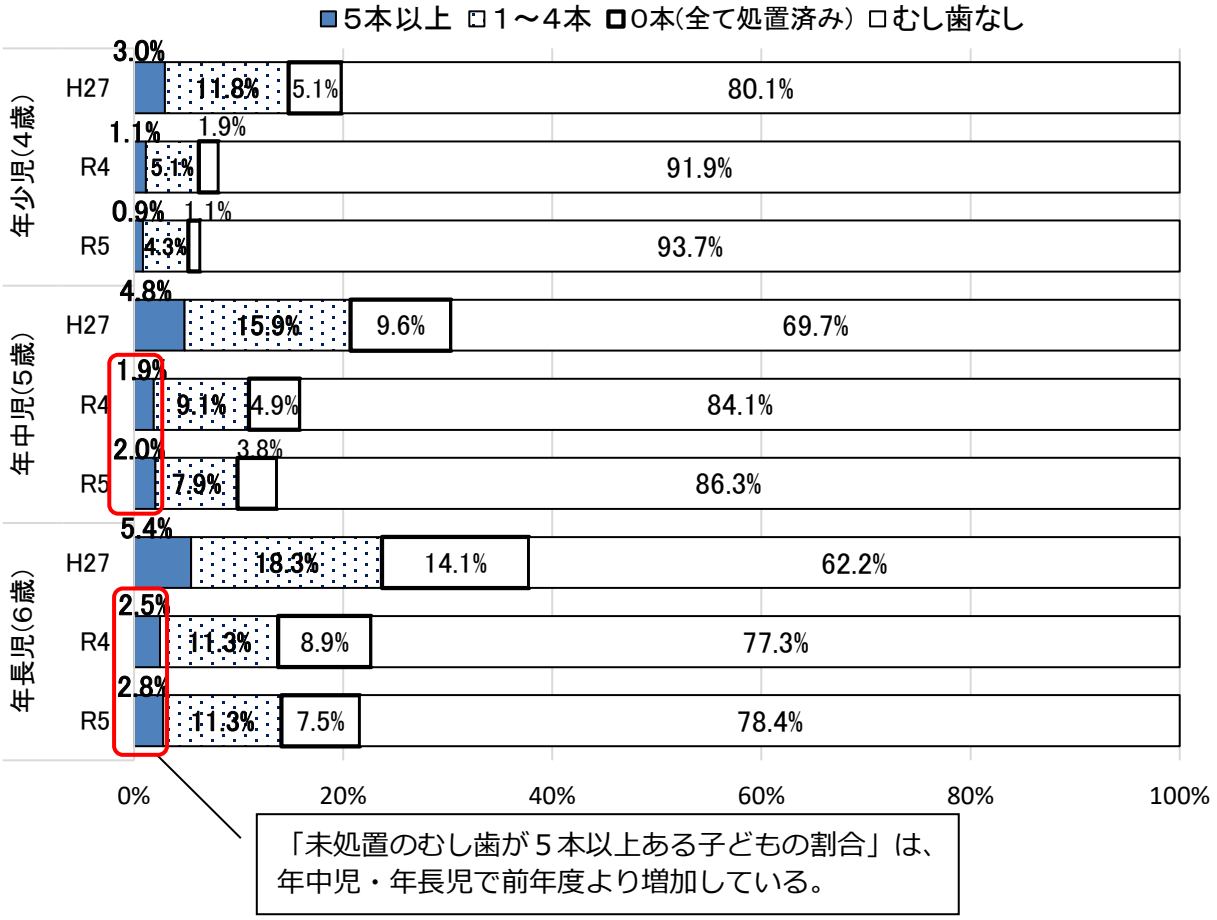


※　令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため秋に歯科健診を実施

（２）未処置のむし歯がある子どもの割合は年長児で微増

未処置のむし歯が５本以上ある子どもの割合は、平成２７年度からはおおよそ半減しているが、前年度との比較では、年中児は微増、年長児は０．３ポイント増加している。

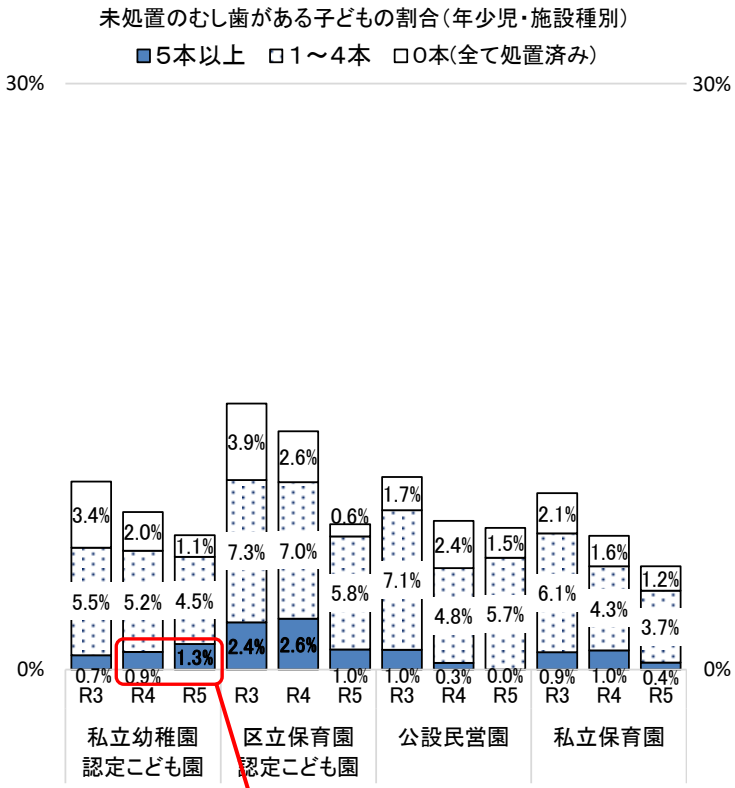
（図３）　未処置のむし歯がある子どもの割合(H27･R4･R5年度比)



（３）施設種別 未処置のむし歯がある子どもの割合（R3、R4、R5 年度比較）

年齢別・施設種別に「未処置のむし歯がある子どもの割合」の年次推移をみると、公設民営園を除き、増加に転じている状況がある。新型コロナウイルス感染症による家庭並びに教育・保育施設の取組への影響等を踏まえ、対策を検討していく必要がある。

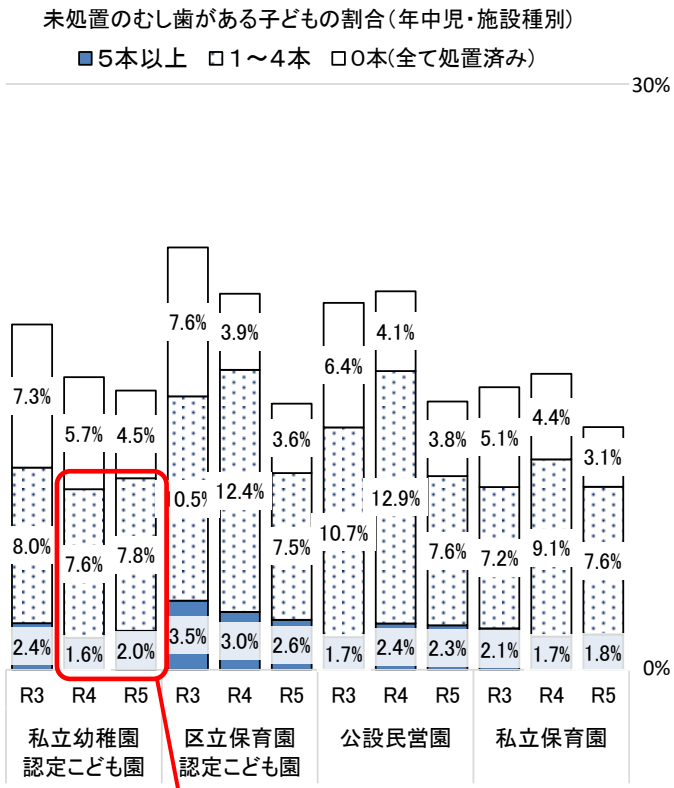
（図４）年少児（４歳）



年少児
５本以上未処置のむし歯がある子の割合

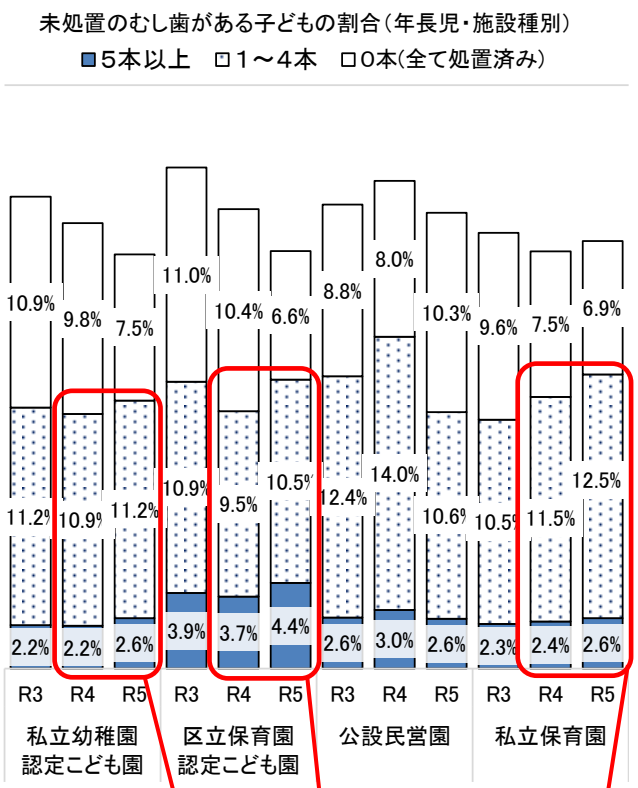
私立幼稚園は **０.４ポイント増加した。**

（図５）年中児（５歳）



年中児
私立幼稚園は、１～４本未処置のむし歯がある子の割合が **０.２ポイント**、５本以上未処置のむし歯がある子の割合は **０.４ポイント増加した。**

（図６）年長児（６歳）



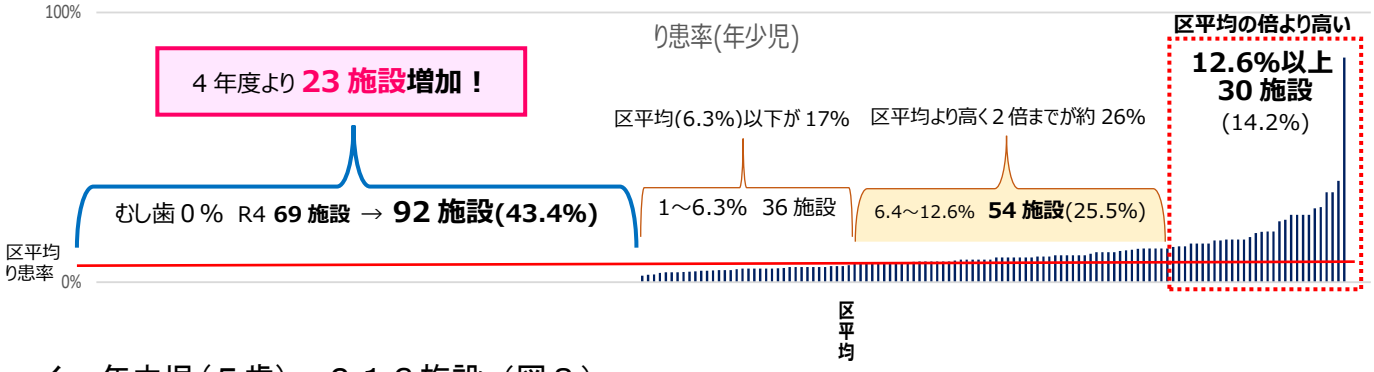
年長児
未処置のむし歯がある子の割合

公設民営園を除き、増加している。
区立園は、５本以上未処置のむし歯がある子の割合が依然として高い。

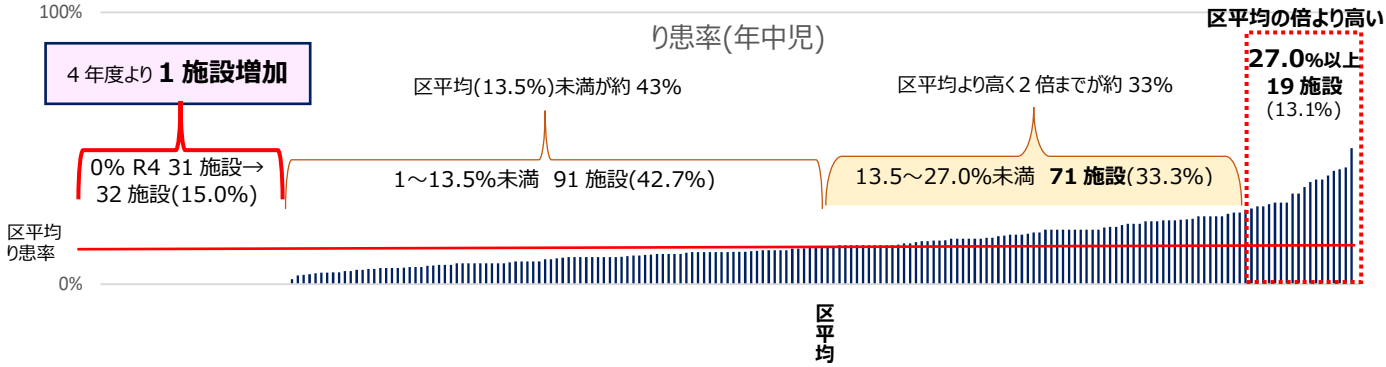
（４）令和５年度 教育・保育施設におけるむし歯り患率(処置済のむし歯を含む)の比較

「むし歯り患率が０％(むし歯がある子ども０人)」の教育・保育施設は、年少児が９２施設(43.4%)と多く、年中児は３２施設(15.0%)、年長児は１９施設(8.9%)と少なくなっている。また、区平均の倍以上のり患率である教育・保育施設は、各年齢２０～３０施設となっており、０%の施設との差を縮小する取組が求められる。

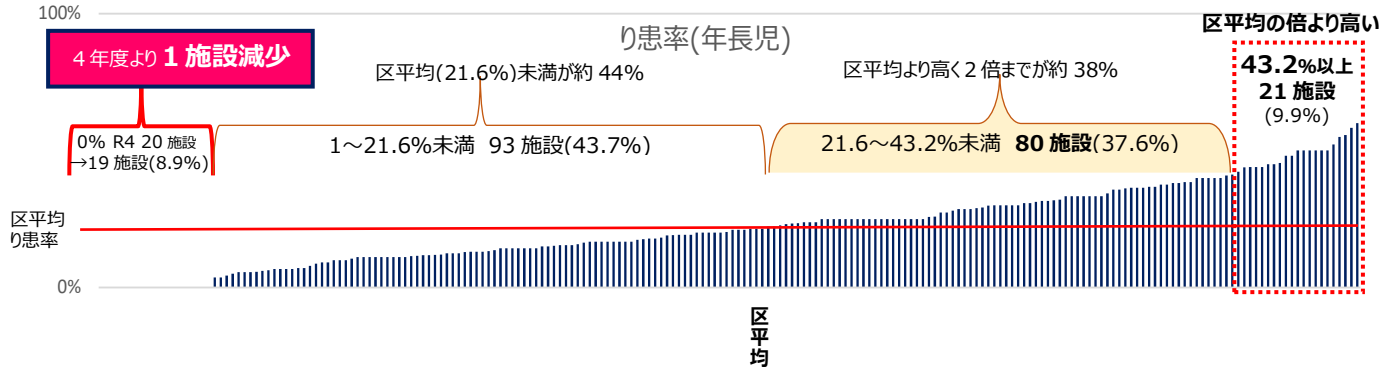
ア　年少児（４歳）　２１２施設（図７）



イ　年中児（５歳）　２１３施設（図８）



ウ　年長児（６歳）　２１３施設（図９）



ア～ウ全てが区平均を上回っている施設は３１施設だった。

むし歯がある小学１年生の割合を特別区平均レベルに引き下げるため、
「年少児でむし歯０％」をそのまま維持することが重要！

（表１）【参考】むし歯がある小学１年生の割合

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
むし歯がある小学1年生の割合	39.8%	36.3%	35.1%	33.1%	29.2%	27.6%
特別区順位	**２３位**	22位	初20位	22位	22位	**２３位** 5年ぶり

※　特別区別のむし歯がある小学１年生の割合はＰ７参照

エ　令和４年度 年少児（４歳）で「むし歯り患率０％(処置済のむし歯を含む)」の教育・保育施設６９施設の１年後の状況

Ｒ４ 年少児　むし歯り患率０％　６９施設（９１２名）の１年後を分析

対象児不在　３施設
69 施設以外に転園した園児 43 名

全員むし歯がない状態を維持

Ｒ５ 年中児　３４施設（４００名）
※　R4 受診者（912 名）のみの結果

１人以上にむし歯あり

Ｒ５ 年中児　３２施設　４３名
（426 名はむし歯なし）

新たにむし歯になった歯の部位

（図１０）４年度「むし歯０本」の年少児が、５年度にむし歯になった部位

（前歯）

	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	
右	6	6	0	0	16	12	1	0	3	3	左
	6	12	1	0	1	1	0	0	10	8	
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	

（奥歯）　（奥歯）

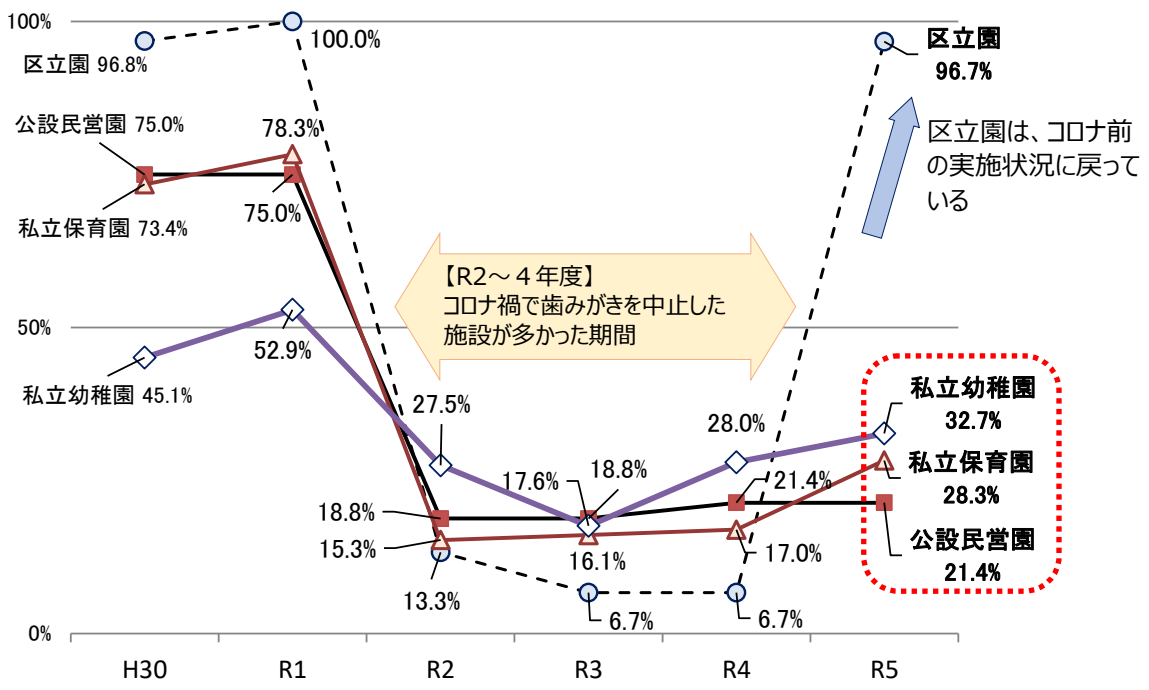
右上（A）１６名、左上（A）１２名・右下（D）１２名　の順に多かった。

年少児から

むし歯り患率０％の施設を増やすために、
「上の前歯・下の奥歯の仕上げみがき」「歯によいおやつ」の習慣化を目指す！

（図１１）【参考】年少児から給食後の歯みがきをする教育・保育施設の割合
区立園は、コロナ禍以前の実施状況に戻っている。

年少児から給食後の歯みがきを実施する割合（H30～R5）



３　令和６年度の主な取組【子ども家庭部、衛生部が連携して取り組む】

（１）歯科健診データを活用した「子どもの歯の健康づくり」の推進

ア　区立保育園の子どもの歯・口腔の健康づくりの充実【子ども家庭部】

「あだちっ子園歯科医」のモデル事業を区立保育園５園で実施し、歯科健診に加えて、歯科保健指導・相談・職員研修の実施等、保育園・足立区歯科医師会・子ども家庭部が連携して、子どもの歯の健康課題を解決する仕組みを構築する。

イ　年少児からの歯によい生活習慣づくりの支援【子ども家庭部】

（ア）私立幼稚園及び年少児時点でり患率の高い施設に対し、子ども家庭部歯科衛生士が仕上げみがき教室や研修等をとおして連携し、年少児以降のむし歯り患率の増加を防ぐ。

（イ）施設が給食後の歯みがきを安全に実施できるよう支援し、年少児からの歯みがき習慣の定着を図る。

ウ　最初に生える永久歯の奥歯「６歳臼歯」のむし歯予防を強化【衛生部】

（ア）令和５年度に開始した「６歳児対象 フッ化物塗布事業」の利用率向上に取り組み、健全な６歳臼歯の育成並びに定期管理の推進を図る（R5 12%→R6 目標 20%）。

（イ）保健センター歯科衛生士による「６歳臼歯健康教室」において、歯みがき体験の実施並びに「10 日間歯みがきチャレンジカード」を活用した習慣づくりに取り組む。

（２）未通園児等の健診受診の推進【子ども家庭部】

未通園児等のうち、新たに児童発達支援センター「うめだ・あけぼの学園」通園児（約 60 名）に施設内健診を実施することで、確実な受診へと繋げる。また、引き続き、区サービス利用者に対する関係機関からの積極的な働きかけや、ハガキ等での受診勧奨を実施する。

４　「糖尿病対策アクションプラン－歯科口腔保健対策編－【中間見直しによる改定版】」進捗状況

あだちっ子歯科健診に関連する実績値及び目標値は、以下のとおりである。むし歯がない子どもの割合（年長児）は１．１ポイント増加し、目標値を大きく上回っている。

（表２）

		２８年度実績 中間実績値	４年度実績 （2022 年度）	**令和５年度実績 （2023 年度）**	Ｒ６年度 目標値
①　あだちっ子歯科健診（４～６歳児）の受診率を向上させる	私立幼稚園・認定こども園	98.7%	98.6%	**97.5%**	１００%
	区立保育園・認定こども園	99.1%	99.0%	**98.9%**	１００%
	公設民営園	99.0%	99.6%	**99.3%**	１００%
	私立保育園	99.7%	99.3%	**99.5%**	１００%
	認証保育所	98.5%	99.3%	**100%**	１００%
	未通園児等	7.7%	23.5%	**23.3%**	２８%
②　受診（治療）報告書提出率	私立幼稚園・認定こども園	49%	63.1%	**63.7%**	７０%
	区立保育園・認定こども園	62%	79.2%	**80.6%**	１００%
	公設民営園	61%	73.6%	**82.5%**	１００%
	私立保育園	68%	81.5%	**85.0%**	９０%
	認証保育所	70%	83.8%	**88.9%**	９０%
	未通園児等	50%	66.7%	**54.4%**	８０%
③　むし歯がない子どもの割合	年長児	61.8%	77.3%	**78.4%**	７０%
	小学１年生	59.8%	72.4%	**秋頃公表**	６５%
④　５本以上未処置のむし歯がある子どもの割合（年長児）		5.1%	2.5%	**2.8%**	２．５%

（表３）【参考】特別区別のむし歯がある小学１年生の割合

令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度	
千代田区	23.6%	千代田区	21.0%	練馬区	17.6%	千代田区	15.2%
品川区	24.6%	中野区	22.2%	目黒区	17.9%	品川区	15.9%
目黒区	24.9%	品川区	22.3%	品川区	18.2%	目黒区	16.2%
練馬区	25.1%	練馬区	22.7%	千代田区	18.3%	練馬区	16.2%
文京区	26.2%	文京区	23.1%	中野区	19.0%	北区	17.7%
北区	26.9%	世田谷区	23.7%	文京区	19.9%	世田谷区	18.7%
中央区	27.5%	墨田区	24.9%	世田谷区	20.4%	中野区	18.7%
世田谷区	27.7%	台東区	25.0%	墨田区	21.0%	杉並区	19.6%
港区	27.8%	北区	25.5%	中央区	21.1%	文京区	20.1%
杉並区	28.2%	江東区	25.9%	杉並区	23.1%	墨田区	20.3%
中野区	28.8%	目黒区	26.2%	港区	23.1%	江東区	20.8%
板橋区	28.9%	中央区	26.9%	板橋区	23.3%	中央区	20.9%
江東区	29.3%	**特別区平均**	**27.1%**	北区	23.3%	**特別区平均**	**21.0%**
墨田区	29.4%	杉並区	27.8%	**特別区平均**	**23.3%**	豊島区	21.1%
大田区	29.7%	板橋区	28.2%	江東区	23.7%	大田区	21.5%
特別区平均	**29.7%**	大田区	28.4%	豊島区	24.4%	港区	21.6%
豊島区	29.8%	渋谷区	29.0%	大田区	25.1%	台東区	21.7%
新宿区	30.4%	港区	29.1%	荒川区	25.3%	新宿区	21.7%
渋谷区	30.9%	葛飾区	29.5%	台東区	25.9%	江戸川区	23.8%
江戸川区	33.7%	豊島区	29.8%	渋谷区	26.0%	板橋区	23.8%
台東区	34.5%	荒川区	30.1%	江戸川区	26.9%	渋谷区	24.1%
足立区	**35.1%**	江戸川区	30.5%	新宿区	27.9%	葛飾区	25.1%
葛飾区	35.8%	**足立区**	**33.1%**	**足立区**	**29.2%**	荒川区	26.0%
荒川区	42.0%	新宿区	34.3%	葛飾区	30.3%	**足立区**	**27.6%**

出典：東京都の学校保健統計書

－資料編－

1　令和５年度あだちっ子歯科健診の実施結果

（１）参加状況及び実施時期

区内の教育・保育施設に通っていない子ども（以下、「未通園児等」という）に個別に通知を発送している。令和４年度から、未通園児の受診率向上策として、認可外保育施設で歯科健診を開始した。

（表４）

	施設数	参加数	**参加率** (R4 年度)	実施時期	備考
私立幼稚園 認定こども園	50	50	**100%** (100%)	令和５年５月～７月	
区立保育園 認定こども園	30	30	**100%** (100%)		
公設民営園	14	14	**100%** (100%)		
私立保育園	110	110	**100%** (100%)		
認証保育所	12	12	**100%** (100%)		年少児以上が在籍する施設
未通園児等	R5.9.1 を基準日とし対象者を抽出			令和５年９月～１１月	個別通知による歯科健診の勧奨
	認可外保育施設（4 園）通所児			令和５年５月～７月	R4 年度開始　5 年度 1 園増加

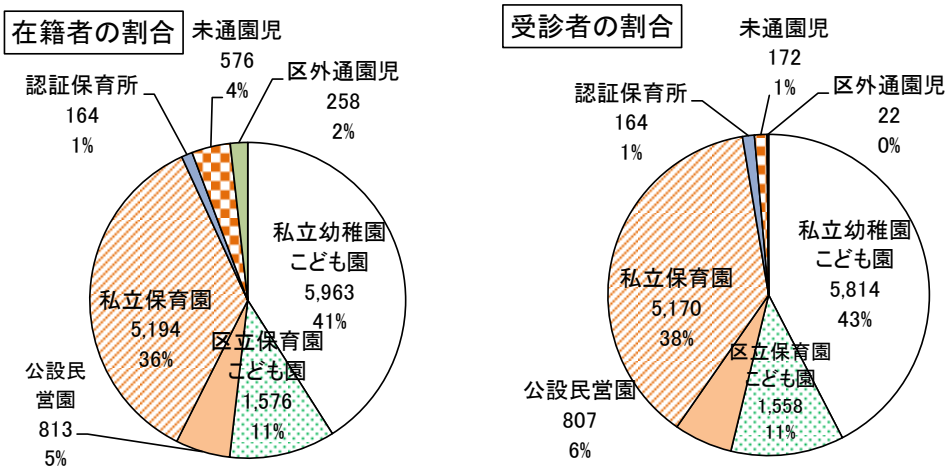
（２）受診状況【各施設からの集計報告による実績値】

（表５）　　※　在籍者は、区外在住者を含む。未通園児等の在籍者は、対象者数を記載

		年少児（４歳）		年中児（５歳）		年長児（６歳）		合計（人数）		
		在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者 (R4 年度)	受診者 (R4 年度)	**受診率** (R4 年度)
私立幼稚園 認定こども園		1,740	1,691	2,032	1,985	2,191	2,138	5,963 (6,571)	5,814 (6,480)	**97.5%** (98.6%)
区立保育園 認定こども園		497	492	519	513	560	553	1,576 (1,642)	1,558 (1,626)	**98.9%** (99.0%)
公設民営園		265	265	270	265	278	277	813 (898)	807 (894)	**99.3%** (99.6%)
私立保育園		1,718	1,706	1,794	1,788	1,682	1,676	5,194 (5,006)	5,170 (4,972)	**99.5%** (99.3%)
認証保育所		64	64	51	51	49	49	164 (144)	164 (143)	**100.0%** (99.3%)
施設通園児　計		**4,284**	**4,218**	**4,666**	**4,602**	**4,760**	**4,693**	**13,710** (14,261)	**13,513** (14,115)	**98.6%** (99.0%)
未通園児等	未通園児	209	63	178	47	189	62	576 (618)	172 (189)	**29.9%** (30.6%)
	(再掲)認可外保育施設通所	30	30	27	26	47	46	104 (110)	102 (107)	**98.1%** (97.3%)
	区外通園児	62	9	82	8	114	5	258 (303)	22 (27)	**8.5%** (8.9%)
合計 (R4 年度)		**4,585** (4,952)	**4,320** (4,654)	**4,953** (5,063)	**4,683** (4,780)	**5,110** (5,167)	**4,806** (4,897)	**14,648** (15,182)	**13,809** (14,331)	
受診率 (R4 年度)		**94.2%** (94.0%)		**94.5%** (94.4%)		**94.1%** (94.8%)		**94.3%** (94.4%)		

受診者の割合は、私立幼稚園が４３％と最も多く、次いで私立保育園が３８％と多くなっている。

（図１２）在籍者、受診者の割合



（３）未通園児等(認可外保育施設通所児を除く) の未受診理由

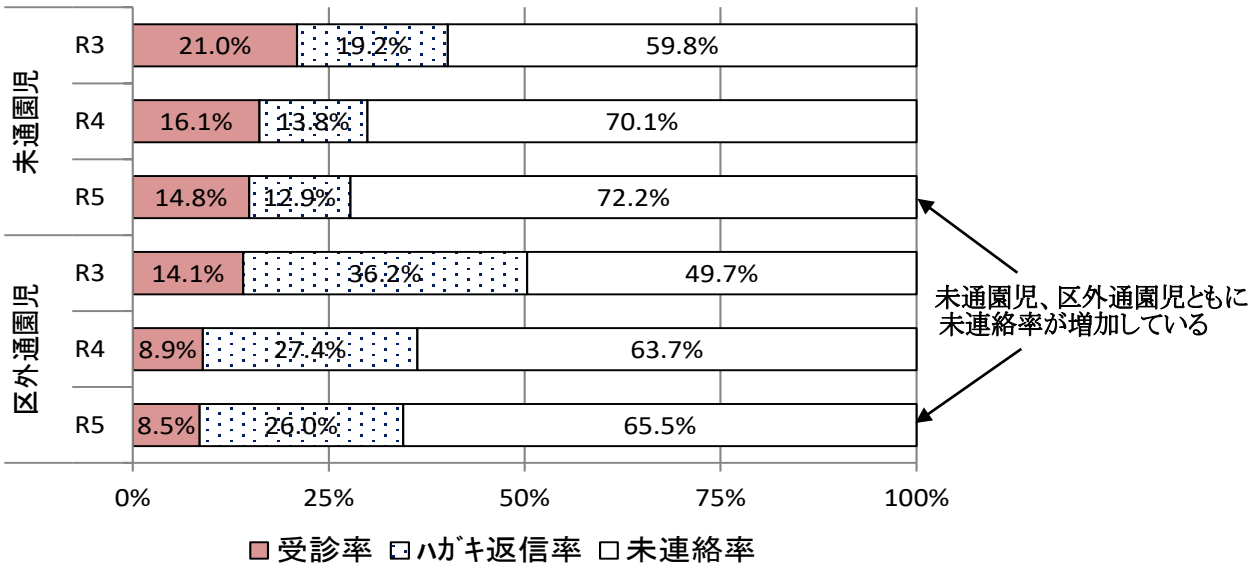
歯科健診の個別通知にアンケートハガキを同封し、健診を希望しない理由等を調査している。令和５年度は、未通園児の１２．９％、区外通園児の２６．０％から返信があった。

希望しない理由(複数回答可)は、「歯科医院に通院中又は定期チェックを受けている」「通っている施設で受けた」の順に多くなっている。

（表６）

	対象者 (R4 年度)	歯科健診受診		未受診			
				希望しないハガキ		未連絡	
		受診者 (R4 年度)	受診率 (R4 年度)	返信数 (R4 年度)	返信率 (R4 年度)	人数 (R4 年度)	割合 (R4 年度)
未通園児 (認可外を除く)	472 (508)	70 (82)	14.8 (16.1%)	61 (70)	12.9% (13.8%)	341 (356)	72.2% (70.1%)
区外通園児	258 (303)	22 (27)	8.5% (8.9%)	67 (83)	26.0% (27.4%)	169 (193)	65.5% (63.7%)
合計	730 (811)	92 (109)	12.6% (13.4%)	128 (153)	17.5% (18.9%)	510 (549)	69.9% (67.7%)

（図１３）歯科健診を希望しない割合（ハガキ返信率）



（４）「足立区保健衛生システム」登録数

受診者のうち、区内在住児の結果を「足立区保健衛生システム」に登録し、分析を行った。システム登録者数は１３，０５４名で、全受診者の９４．５％であった。

（表７）　※　受診者には区外在住児もいるため、受診者数と登録者数は一致していない。

	年少児（４歳）		年中児（５歳）		年長児（６歳）		システム登録人数合計	
	受診者 (R4 年度)	登録者 (R4 年度)	受診者 (R4 年度)	登録者 (R4 年度)	受診者 (R4 年度)	登録者 (R4 年度)	受診者 (R4 年度)	登録者 (R4 年度)
人数	4,320 (4,654)	4,088 (4,444)	4,683 (4,780)	4,448 (4,547)	4,806 (4,897)	4,518 (4,634)	13,809 (14,331)	13,054 (13,625)
登録率		**94.6%** (95.5%)		**95.0%** (95.1%)		**94.0%** (94.6%)		**94.5%** (95.1%)

（５）歯科健診分析結果（足立区保健衛生システムに登録した子どもの歯科健診結果）

ア　乳歯にむし歯がある子どもの割合（年齢別）

令和５年度の結果、乳歯にむし歯がある子どもの割合は、全年齢で減少した。

（表８）　むし歯がある子どもの割合

	年少児（４歳）			年中児（５歳）			年長児（６歳）		
	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率
平成２７年度	4,829	959	**19.9%**	4,856	1,473	**30.3%**	5,014	1,894	**37.8%**
平成２８年度	4,925	823	**16.7%**	5,086	1,408	**27.7%**	4,983	1,903	**38.2%**
平成２９年度	4,868	719	**14.8%**	5,058	1,324	**26.2%**	5,134	1,854	**36.1%**
平成３０年度	4,945	591	**12.0%**	4,926	1,080	**21.9%**	5,057	1,672	**33.1%**
令和元年度	4,922	536	**10.9%**	5,004	1,001	**20.0%**	4,939	1,453	**29.4%**
令和２年度	4,606	587	**12.7%**	4,896	965	**19.7%**	4,981	1,457	**29.3%**
令和３年度	4,575	465	**10.2%**	4,633	794	**17.1%**	4,920	1,175	**23.9%**
令和４年度	4,444	360	**8.1%**	4,547	722	**15.9%**	4,634	1,051	**22.7%**
令和５年度	**4,088**	**259**	**6.3%**	**4,448**	**608**	**13.7%**	**4,518**	**976**	**21.6%**

イ　乳歯にむし歯がある子どもの割合（施設種別）

施設間の最大値と最小値の差は、年少児が２．１ポイント、年中児１．９ポイント、年長児２．５ポイントとなっている。

（表９）※　認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

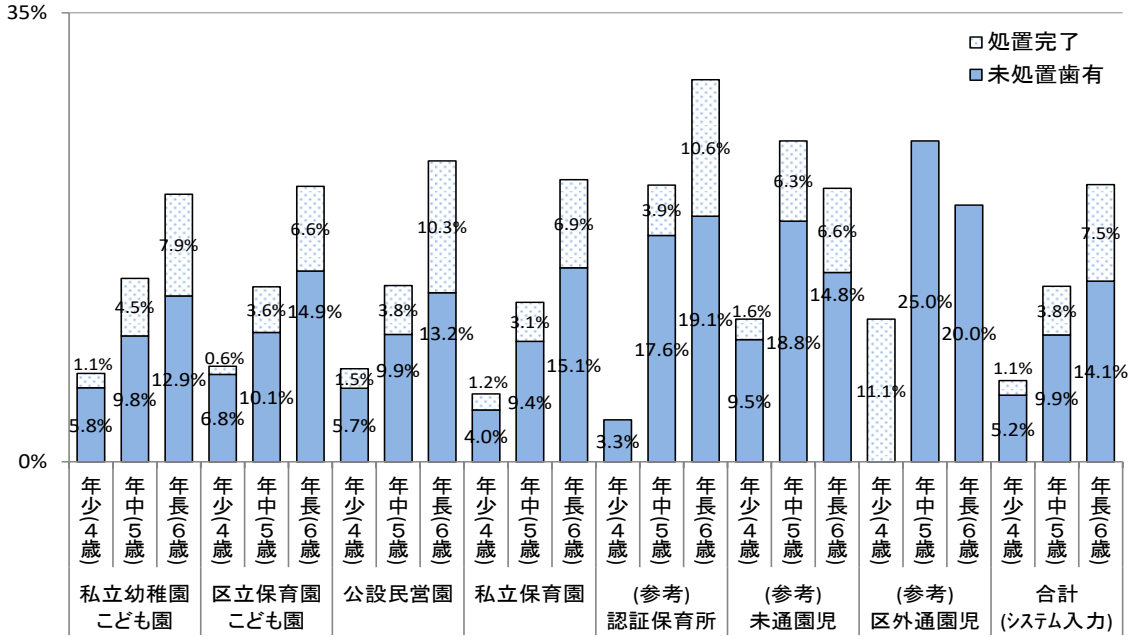
	年少児（４歳）			年中児（５歳）			年長児（６歳）		
	受診者	むし歯有	有病率 (R4 年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R4 年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R4 年度)
私立幼稚園 認定こども園	1,525	105	**6.9%** (8.1%)	1,804	258	**14.3%** (15.0%)	1,927	402	**20.9%** (22.9%)
区立保育園 認定こども園	484	36	**7.4%** (12.2%)	506	69	**13.6%** (19.3)	545	117	**21.5%** (23.6%)
公設民営園	262	19	**7.3%** (7.6%)	262	36	**13.7%** (19.4%)	273	64	**23.4%** (25.1%)
私立保育園	1,684	89	**5.3%** (6.8%)	1,769	220	**12.4%** (15.2%)	1,660	365	**22.0%** (21.5%)
(参考)認証保育所	61	2	**3.3%** (14.1%)	51	11	**21.6%** (22.9%)	47	14	**29.8%** (29.6%)
(参考)未通園児	63	7	**11.1%** (7.4%)	48	12	**25.0%** (10.0%)	61	13	**21.3%** (23.0%)
(参考)区外通園児	9	1	**11.1%** (9.1%)	8	2	**25.0%** (25.0%)	5	1	**20.0%** (12.5%)
合計 (R4 年度)	**4,088** (4,444)	**259** (360)	**6.3%** (8.1%)	**4,448** (4,547)	**608** (722)	**13.7%** (15.9%)	**4,518** (4,634)	**976** (1,051)	**21.6%** (22.7%)

ウ　むし歯がある子どもにおける未処置歯保有・処置完了の割合（年齢別・施設種別）

全ての年齢で、未処置のむし歯を有する子の割合が処置完了者を上回っている。

※　認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

（図１４）施設種別等 むし歯がある子どもの割合（未処置歯有、処置完了者の割合）

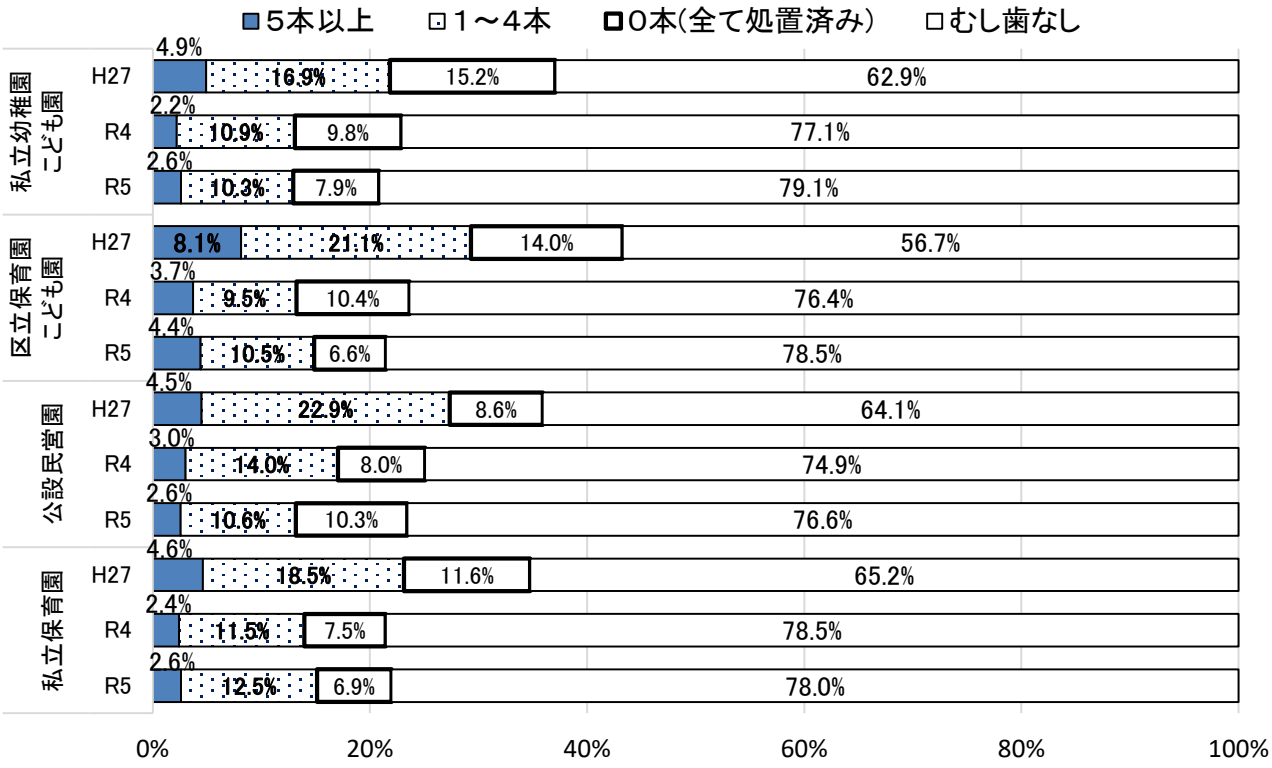


【参考】 ４年度（合計）	処置完了率	年少　１．９％	年中　４．９％	年長　８．９％
	未処置歯保有率	年少　６．２％	年中１１．０％	年長１３．８％

エ　施設種別・乳歯に５本以上未処置のむし歯をもつ年長児の割合

５本以上未処置のむし歯をもつ年長児の割合は、公設民営園を除き、増加している。

（図１５）【年長】施設種別･5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(H27･R4･R5年度比)



オ　受診報告書の提出状況【施設からの集計報告による実績値】

歯科健診後に、治療・相談が必要な子ども(※1)に対し、保護者が歯科医療機関を受診した結果が、教育・保育施設より受診報告書として提出されている(※2)。

なお、未通園児等の受診報告は、保護者から区に直接ハガキで報告する方法を採用している(※3)。

令和５年度における受診報告書の提出率の平均は７０．５％で、４年度と比べて０．３ポイント増加した。

※1　未処置のむし歯(C)及びむし歯になりそうな歯(ＣＯ)がある又は歯肉、歯垢、かみ合わせで治療・相談が必要な子ども

※2　概ね歯科健診から２か月程度経過した時点での報告率

※3　未通園児等は、サンプル数が少ないため、参考値とする(合計には含む)。

（表１０）

		年少児（４歳）		年中児（５歳）		年長児（６歳）		合計(人数)		
		発行数	報告数	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数 (R4 年度)	報告数 (R4 年度)	**報告率** (R4 年度)
私立幼稚園 認定こども園		277	156	384	243	499	324	1,160 (1,369)	723 (853)	**62.3%** (62.3%)
区立保育園 認定こども園		92	68	101	77	148	116	341 (384)	261 (289)	**76.5%** (75.3%)
公設民営園		42	29	54	42	73	58	169 (234)	129 (173)	**76.3%** (73.9%)
私立保育園		200	163	320	250	386	302	906 (957)	715 (755)	**78.9%** (78.9%)
認証保育所		15	14	15	13	17	15	47 (37)	42 (31)	**89.4%** (83.8%)
未通園児等	未通園児 ※R5 認可外含む	15	8	18	8	23	7	56 (30)	23 (16)	**41.1%** (53.3%)
	区外通園児	4	0	4	2	4	1	12 (9)	3 (4)	**25.0%** (44.4%)
合計 (R4 年度)		645 (748)	438 (526)	896 (1,011)	635 (712)	1,150 (1,261)	823 (883)	2,691 (3,020)	1,896 (2,121)	
報告率 (R4 年度)			**67.9%** (70.3%)		**70.9%** (70.4%)		**71.6%** (70.0%)			**70.5%** (70.2%)

2　あだちっ子歯科健診の概要

（１）目的

「足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー」の一環として、むし歯が増えやすい年少児(４歳)から年長児(６歳)を対象に、(公社)東京都足立区歯科医師会、各保育施設、認定こども園、私立幼稚園等が連携・協調しながら、①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、むし歯予防及び早期の治療に繋げる取組を進めている。

【あだちっ子歯科健診のポイント】

①　統一基準(帳票、健診基準等)の歯科健診を実施

②　健診後、歯科受診が必要な子どもの保護者に丁寧な受診勧奨を実施

③　歯科健診結果の集計・分析・フィードバック

（２）対象者

通園の有無に関わらず、全ての年少児（４歳）～年長児（６歳）

※　区内の保育施設、認定こども園、私立幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施

（３）実施方法及び今後の目標

ア　統一基準の歯科健診

足立区歯科医師会に委託（区立認定こども園のみ嘱託医）し、施設及び会員歯科診療所で歯科健診を実施する。足立区歯科医師会の協力のもと、施設内健診、会員診療所での未受診者健診等を行い、受診率向上を目指している。

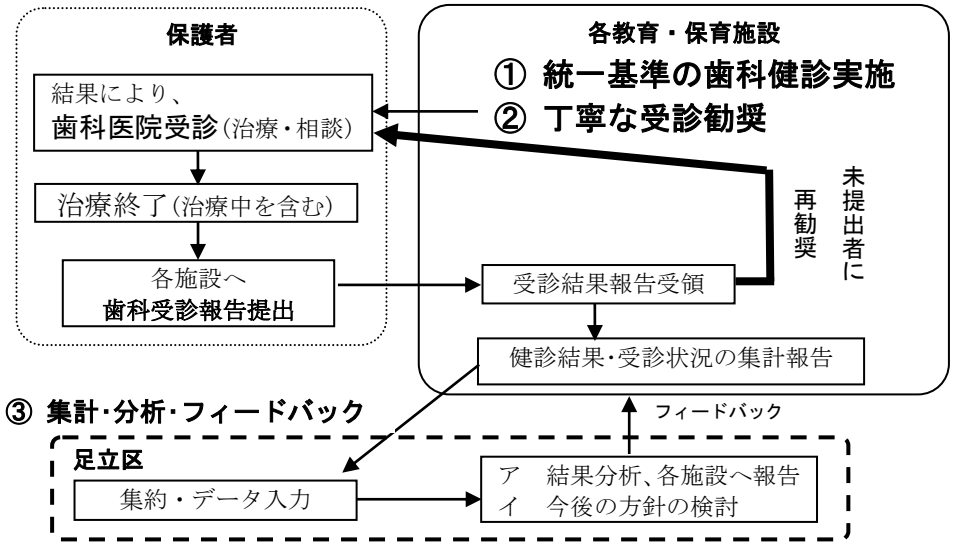
イ　受診勧奨

各保育施設・認定こども園・私立幼稚園の協力のもと、保護者への丁寧な受診勧奨と受診報告書の確認をすることで、未治療の子どもを減らしていく。

ウ　結果集計・分析・フィードバックと役割分担

各施設から歯科健診結果報告を受け、区は個人情報の適正な管理のもと足立区保健衛生システムに登録の上、集計・分析を行う。分析結果から、園児や保護者が望ましい生活習慣を獲得できるよう、効果的な「歯・口の健康づくりの取組」を検討・実施する。

あだちっ子歯科健診フロー図



【問合せ先】

●あだちっ子歯科健診の実施に関すること

足立区教育委員会子ども家庭部

子ども政策課子ども施策推進担当　０３－３８８０－５２６６

●あだちっ子歯科健診の結果分析に関すること

足立区衛生部データヘルス推進課

多世代健康データ連携担当　　０３－３８８０－５６０１

区オリジナル・奥歯のはみがき
キャラクター「おくばちゃん」